

金城大学附属西南幼稚園



園長 太田 淳子

本園は、金城大学及び金城大学短期大学部との連携を密にし、大学教員スタッフや学生と連携しながら様々な活動を実施したり、大学行事への参加も積極的に رفتったりしています。「あそびの中に学びがある」をモットーに「幼児期にしかできない」「幼児期だからこそ思いきりさせてあげたい」あそび・経験を大切に、その中で学び、成長する一人ひとりの姿を大切にしています。また、満3歳児の受入れ、平日及び長期休業期間の預かり保育、未就園の子ども向けの体験保育も実施しています。

教育目標

一人ひとりの個性を伸ばしながら、人間形成の基礎を養い、自主的にあそべる子どもを目指す。

沿革

- 1976(昭和51)年 石川県松任市(現在白山市)が松任市立西南幼稚園を創設
- 1979(昭和54)年 金城学園が管理運営業務を受託
- 2008(平成20)年 白山市から移管を受け、金城大学附属西南幼稚園として開園
- 2012(平成24)年 石川県幼稚園教育理解推進事業公開保育研究協議会を実施



園児数

2024(令和6)年5月1日現在

入園定員	収容定員	園児数	年齢別園児数			男/女 (%)
			3歳児	4歳児	5歳児	
40	120	21	11	4	6	67/33

卒園児数累計(令和5年度を含む。)1,258人

Topics

2023(令和5)年度～2024(令和6)年5月

- ・ 従来の大短連携プログラム(わくわくタイム)を見直し、令和5年度からは体育・自然体験・思考力と豊かな感性を育てる体験・特別体験を柱とし、9つのプログラムを実施しています。新たに取り入れた「ダンスであそぼう」では、短大生とダンスに取り組み、「アートであそぼう」では、大学の先生とダイナミックで感性をくすぐる体験を楽しみました。これまで以上に様々な分野で学びを深めていけるよう取り組んでいます。
- ・ SDGsの一環として取り組んできた畑の野菜の堆肥作りに引き続き、令和5年度は、金城大学短期大学の畑サークルが取り組んだ地域との交流に園児も参加し、翠星高校の生徒も加わって、さつま芋の苗植えと収穫を行いました。また、収穫した野菜等を使った味噌汁を、近隣の松陽小学校の5年生と一緒に食べ、食を通して地域との絆を強めることができました。